



島根県の経済情勢

令和 8 年 8 月 5 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 福間
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	8年度は前年度を下回る見込み	↘
企業収益	7年度は減益見込み	8年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	↗
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が好転する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ドラッグストア販売は、夏季関連商品などが好調であり、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、エアコンなどが好調であり、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、各種キャンペーン商品などが好調であり、前年を上回っている。スーパー販売は、物価高対策による消費活性化などを背景に、前年を上回っている。ホームセンター販売は、雑草対策商品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新型車の発売効果などから、前年を上回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、テレビドラマの放映効果が引き続いていることなどから、前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

- 例年に比べ気温上昇が早かったことから、UV 関連商品や虫刺され薬が好調。食料品では、アイスクリームや冷たい飲料などが売上げをけん引した。（ドラッグストア）
- 2027 年春からの省エネ基準引き上げに関する報道の増加や 5 月からの気温上昇を背景に、エアコンの低価格モデルを中心に駆け込み需要がみられ、販売は好調に推移している。（家電大型専門店）
- お得感のある各種キャンペーンを実施したことで、対象商品は販売開始後すぐに完売するなど、好調であった。特に大容量商品の売れ行きが良く、コストパフォーマンスを重視する消費者マインドがうかがえる。（コンビニエンスストア）
- 物価高対策として自治体から配布された商品券の効果により消費が活性化しており、価格が高く、これまで不調であった牛肉や豚肉などの売上げも好調であった。（スーパー）
- 気温が上昇したことで除草剤や刈払機などの雑草対策商品の動きが活発であるほか、梅雨入り後も降雨量が少ないことから、農業用の水中ポンプの販売も好調に推移している。（ホームセンター）
- 新型車の発売効果に加え、国の各種支援策も追い風となり、販売台数が増加している。（自動車販売）
- テレビドラマの放映効果が引き続きみられるほか、ゴールデンウィークにおいても、客室単価の値上げ幅を抑えたことで需要を取り込み、客室稼働率は好調に推移した。（宿泊）
- 人流が活発化する時期を迎えている中、テレビドラマの放映効果による来店客も多く、堅調な観光需要に支えられて繁忙な状況が続いている。（飲食）

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

電気機械・情報通信機械は、更新需要の反動などから、減少している。窯業・土石は、燃料価格の高騰による生産調整などから、減少している。

一方、汎用・生産用・業務用機械は、省人化投資の需要が堅調なことなどから、増加している。電子部品・デバイスは、部材供給懸念を背景とした前倒し受注などから、増加している。鉄鋼・非鉄金属は、販売価格改定前の前倒し受注などから、増加している。輸送機械、木材・木製品は、概ね横ばいとなっている。

- 前年度にみられた端末の更新需要の反動により、法人向けの生産量は減少している。（電気機械・情報通信機械）
- 中東情勢の影響による燃料価格の高騰を受けて生産調整を実施しており、生産量は減少している。（窯業・土石）
- 省人化投資の需要が堅調であることに加え、飲食業界が回復基調にあることを背景に、食品関連機器の生産・出荷台数は増加している。（汎用・生産用・業務用機械）
- 中東情勢の影響による部材供給懸念を背景に、車載向けやスマートフォン向けの受注が前倒しになっていることから、生産量は増加している。また、AI サーバー向けの受注も想定を上回る伸びとなっている。（電子部品・デバイス）
- 自動車関連の製造設備向けは、原料価格高騰を背景に、販売価格改定前の前倒し受注がみられ、生産量は増加している。（鉄鋼・非鉄金属）

■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

有効求人倍率は上昇している。また、法人企業景気予測調査（8 年 4-6 月期）の従業員数判断 BSI をみると、「不足気味」超幅は拡大しており、人手不足の傾向が続いている。

- 3 月及び 4 月は新規求人数が増加しているが、これは今後解散予定の県内大手企業の退職者向け求人が製造業・非製造業を問わず出ていることによるもの。当該求人を除くと、新規求人数は概ね前年同月並みとなっている。（職業紹介）
- 夜勤を伴う求人については、日本人の応募が非常に少なく、高単価の外国人派遣従業員に頼らざるを得ない状況にある。（電気機械・情報通信機械）
- 自動車整備士の新卒採用が難しくなっているため、未資格者を採用したうえで、技術学校等での養成を経て資格取得後に整備士として配置するケースが一般的になりつつある。（自動車販売）

■ 設備投資 「8年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業は、鉄鋼などで増加するものの、情報通信機械やはん用機械などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業は、金融、保険などで増加するものの、小売や電気などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。

- 完成した新棟への設備導入が中心であるが、新棟建設を行った前年度の反動により、今年度は減少見込みである。(情報通信機械)
- 前年度において、物流施設建設など大規模な設備投資を行ったため、今年度は抑制方針としている。(小売)

■ 企業収益 「8年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業は、木材・木製品などで増益となるものの、情報通信機械や電気機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、小売などで増益となるものの、卸売や運輸、郵便などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは、「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家が減少しているものの、貸家や分譲住宅が増加していることから、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、県などで増加するものの、国や市町村などで減少していることから、前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費 -----	1
2. 生産活動 -----	3
3. 雇用情勢 -----	4
4. 設備投資 -----	5
5. 企業収益 -----	5
6. 企業の景況感 -----	6
7. 住宅建設 -----	6
8. 公共事業 -----	6

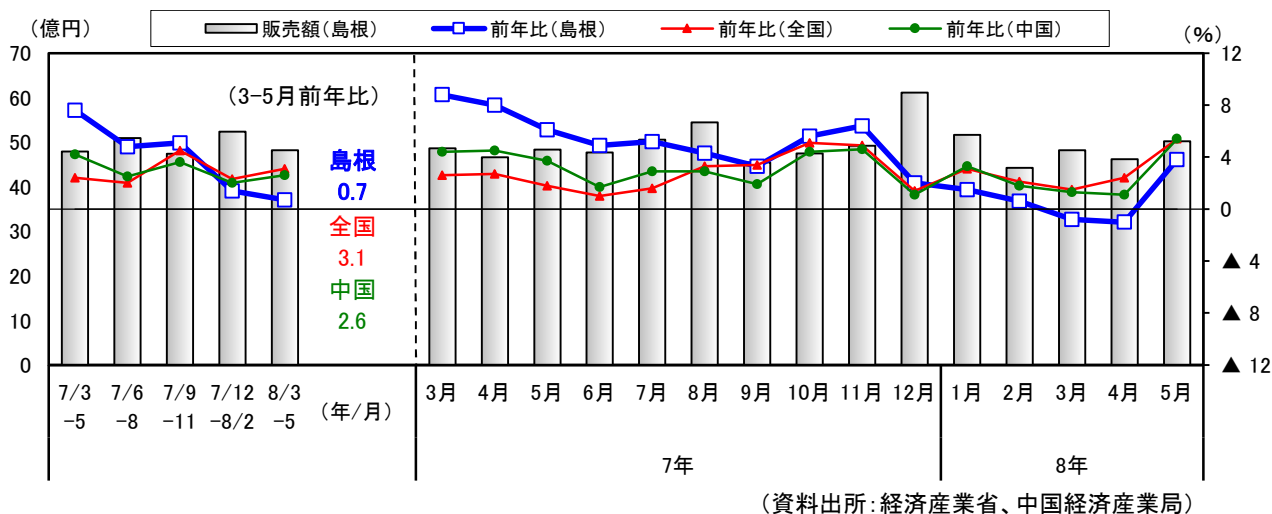
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 福間
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

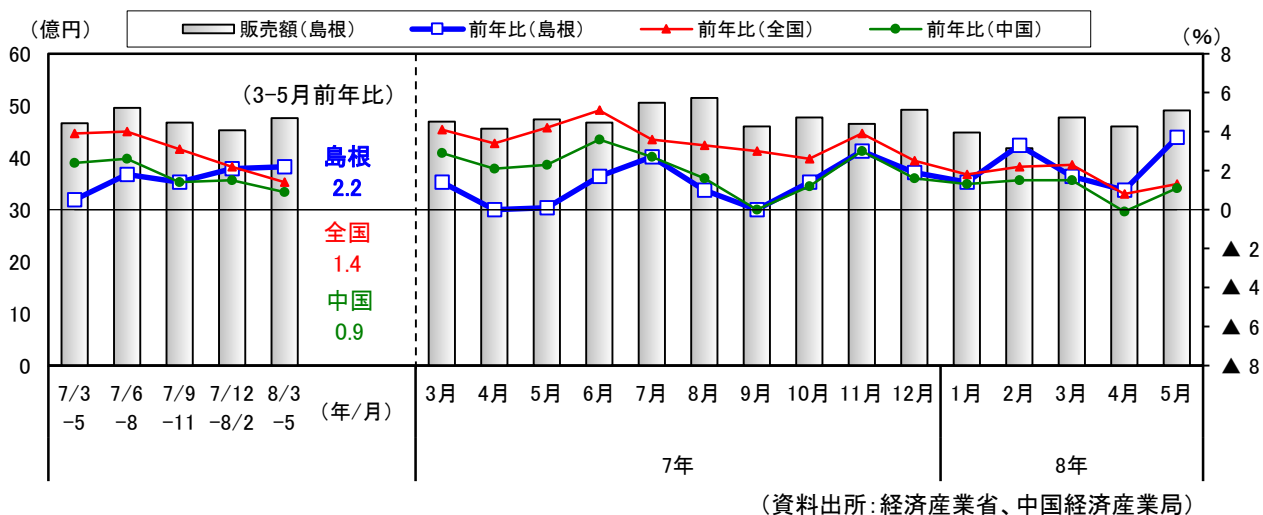
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

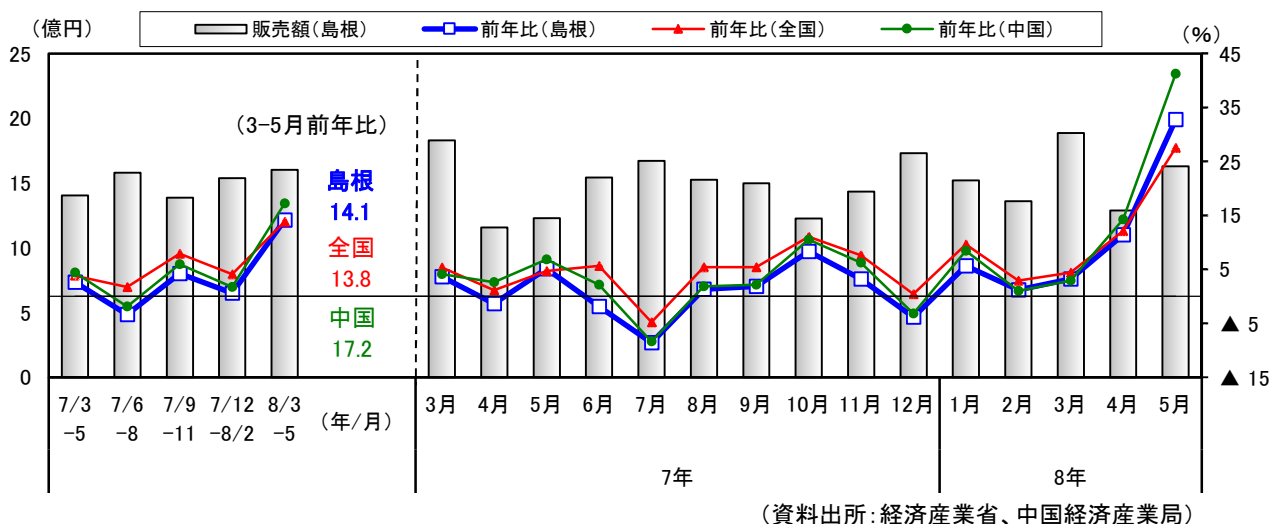
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



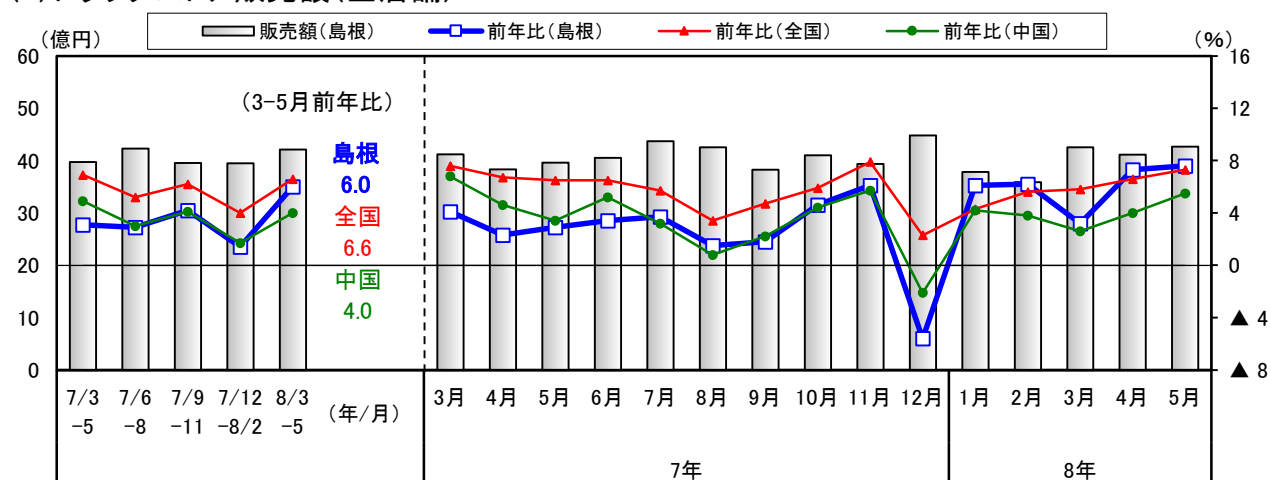
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3)家電大型専門店販売額(全店舗)

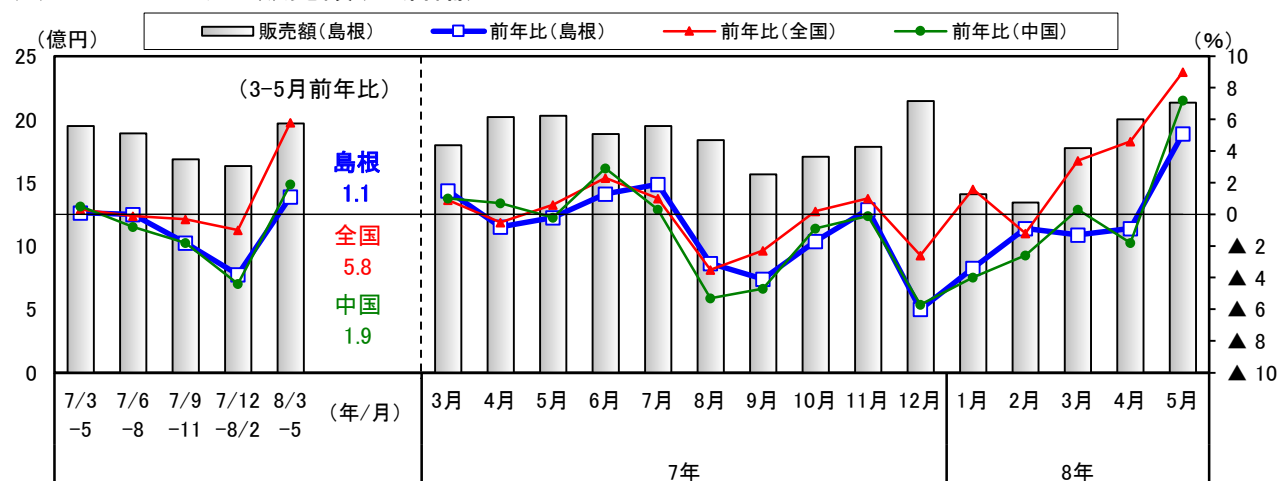


(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



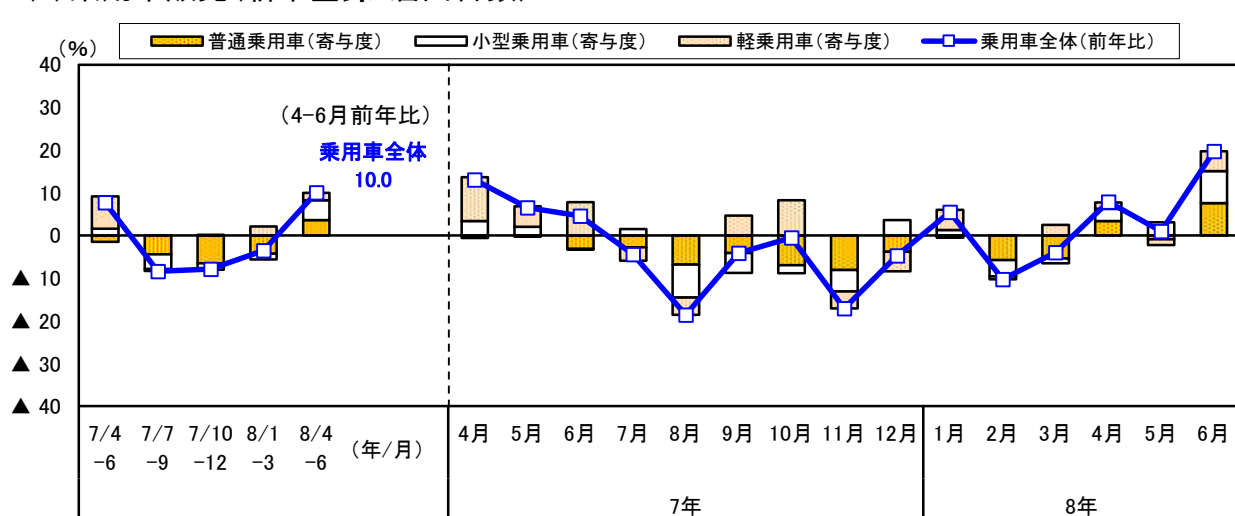
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5)ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

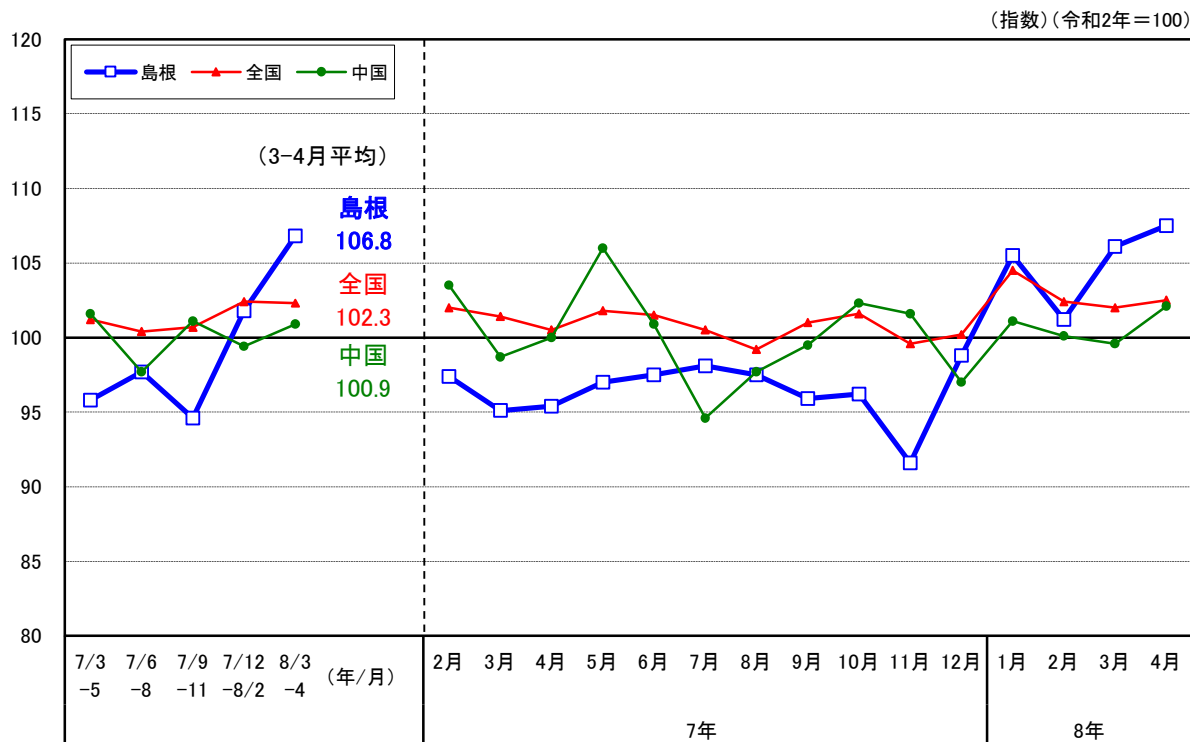
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局、島根運輸支局)

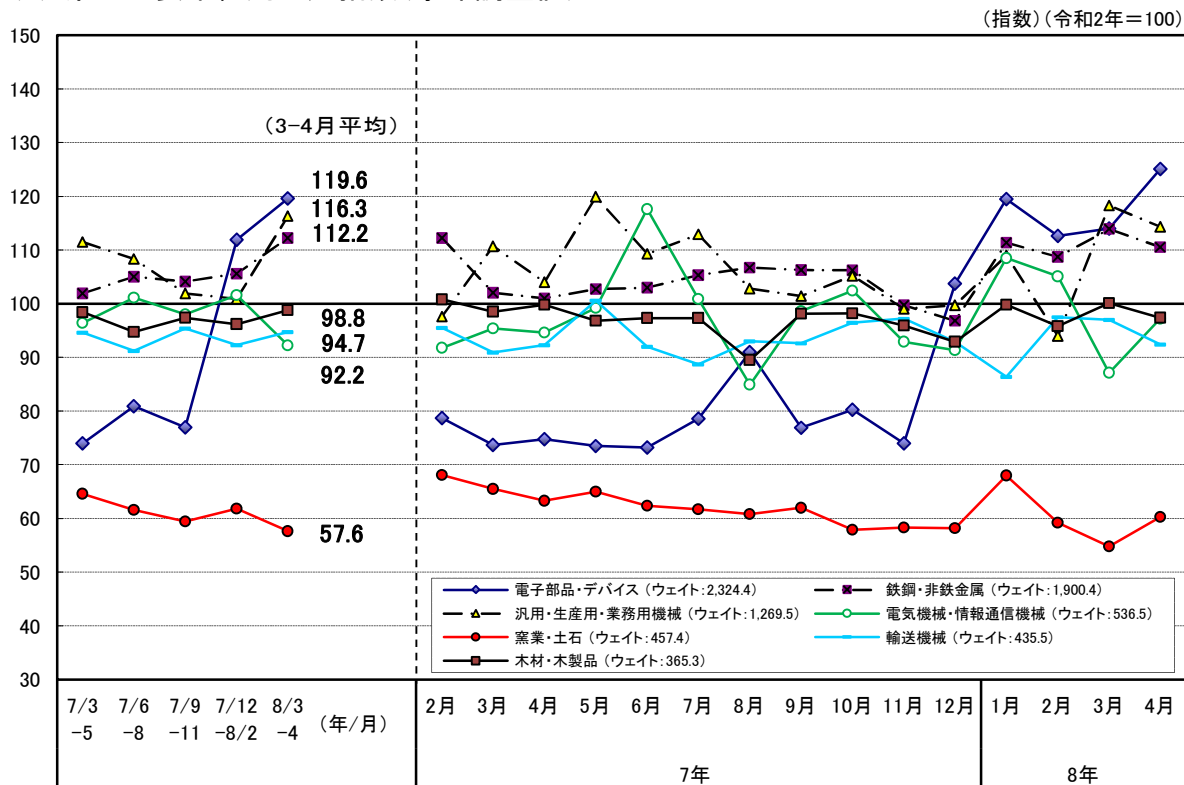
2. 生産活動 一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

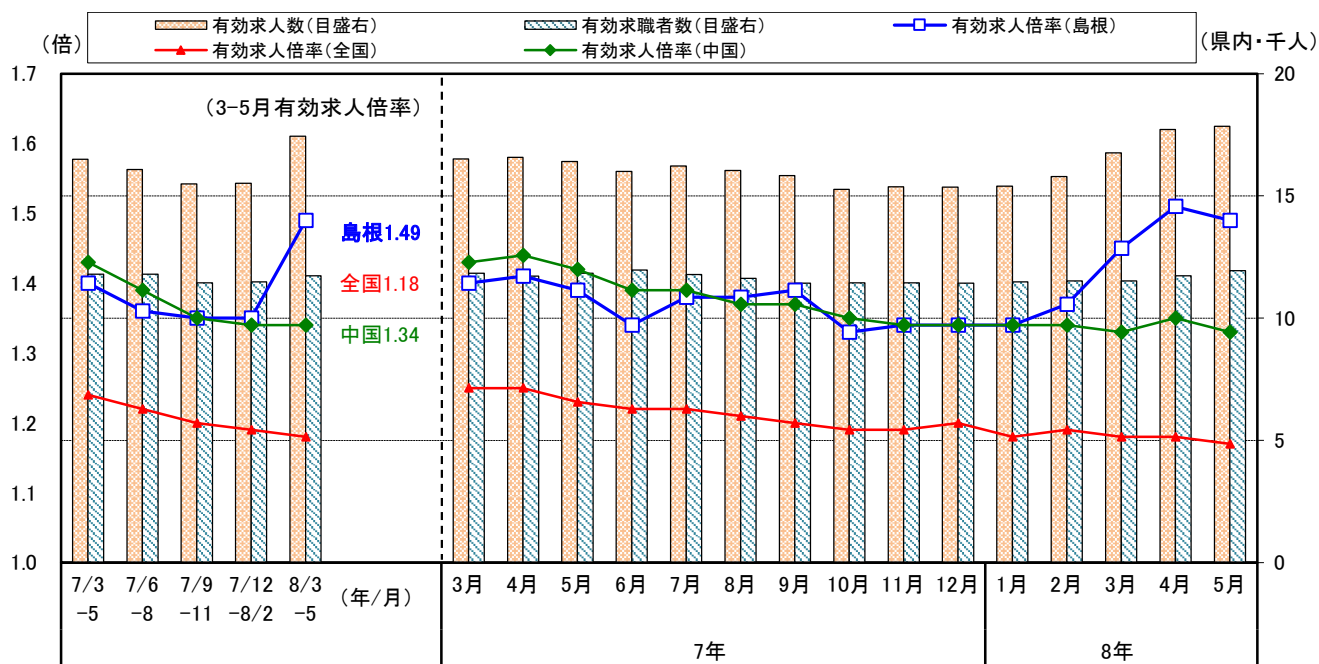


(資料出所:島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 横ばいの状況にある

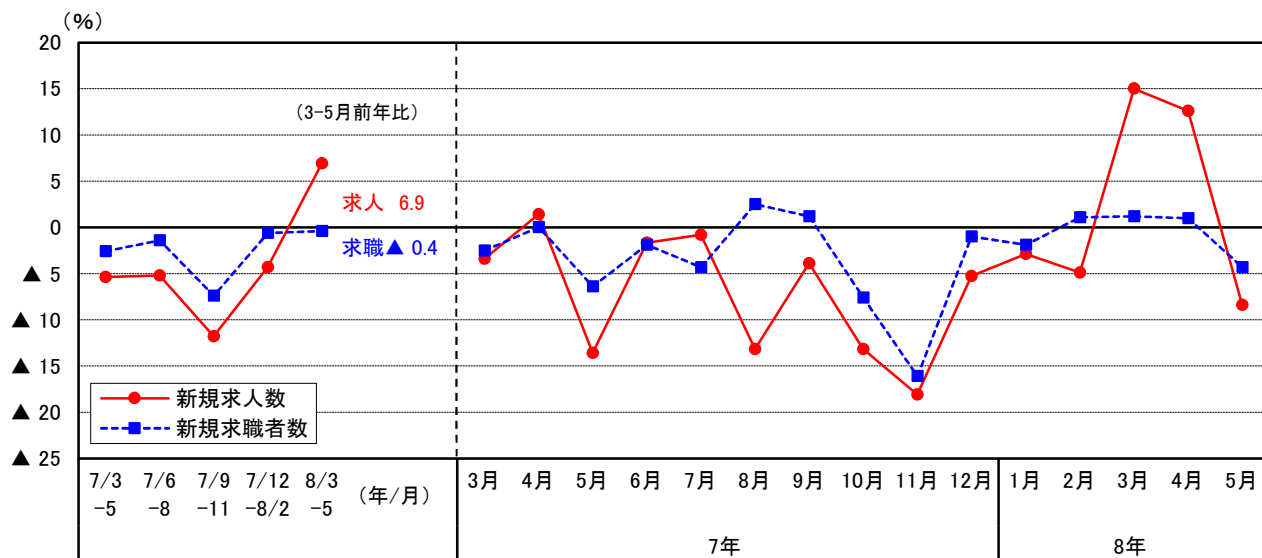
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

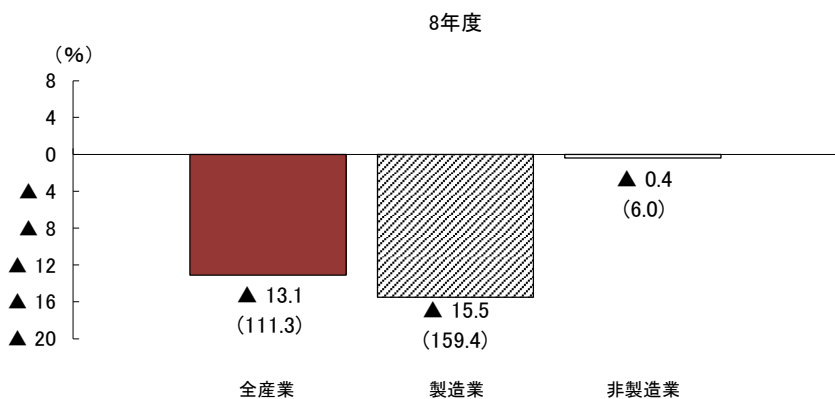
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:島根労働局)

4. 設備投資 8年度は前年度を下回る見込み

設備投資の前年度比増減率

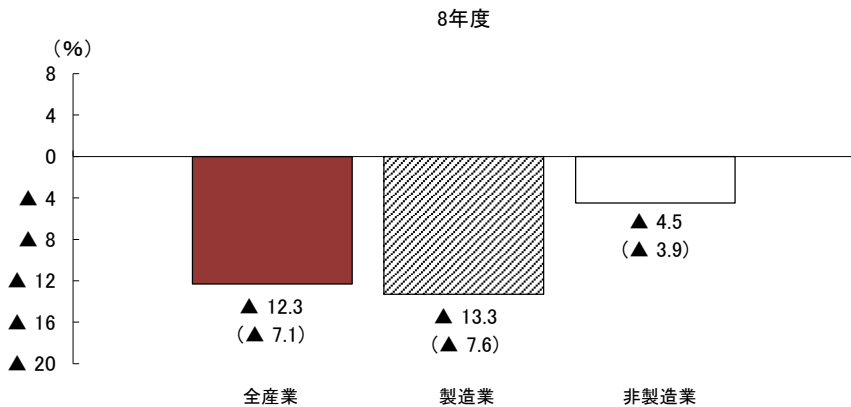


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(8年4-6月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(8年1-3月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 8年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

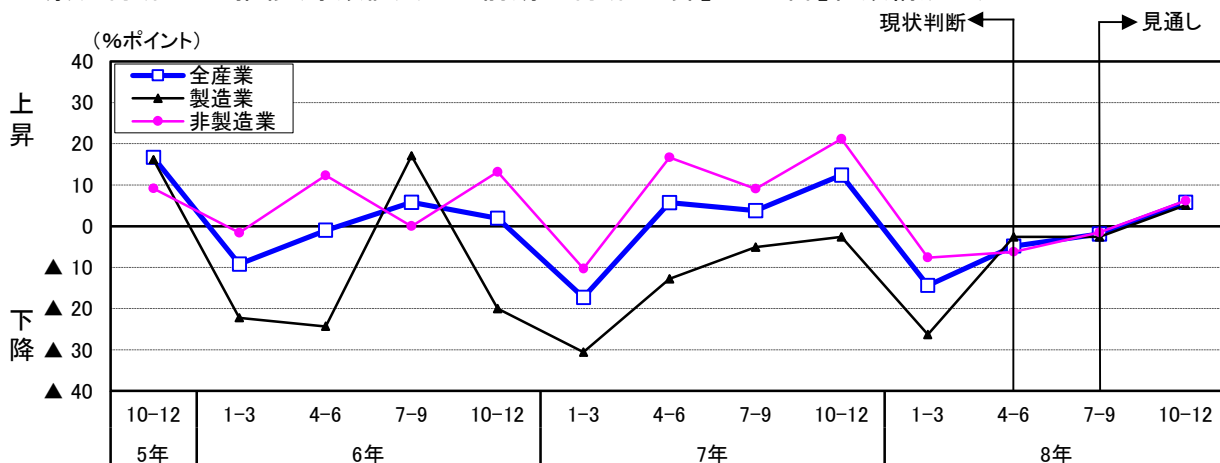


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(8年4-6月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(8年1-3月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超幅が縮小している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

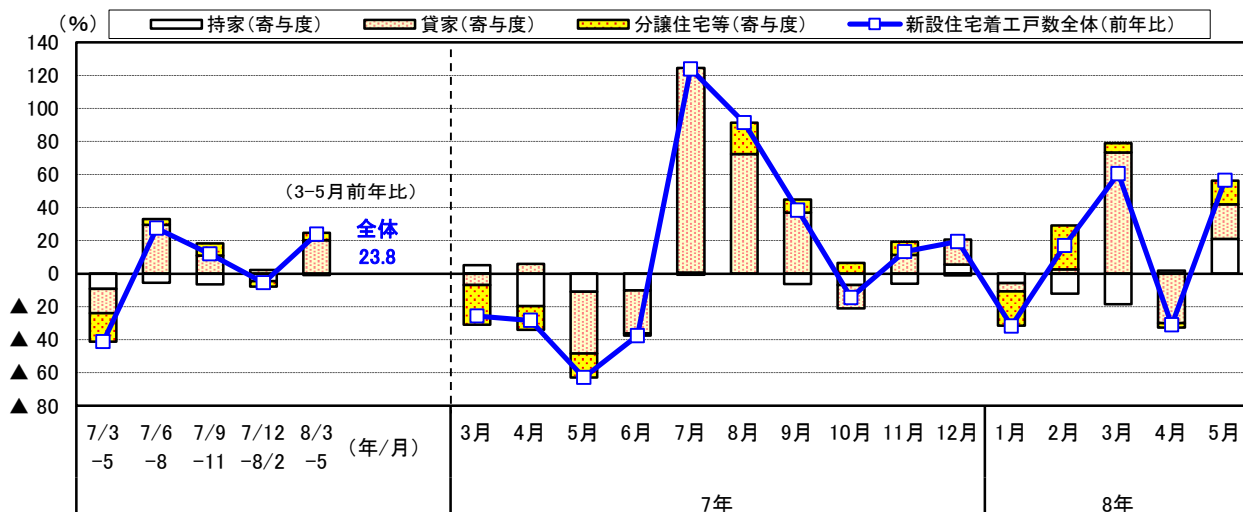


(注)法人企業景気予測調査(8年4-6月期)結果

(資料出所:松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を上回る

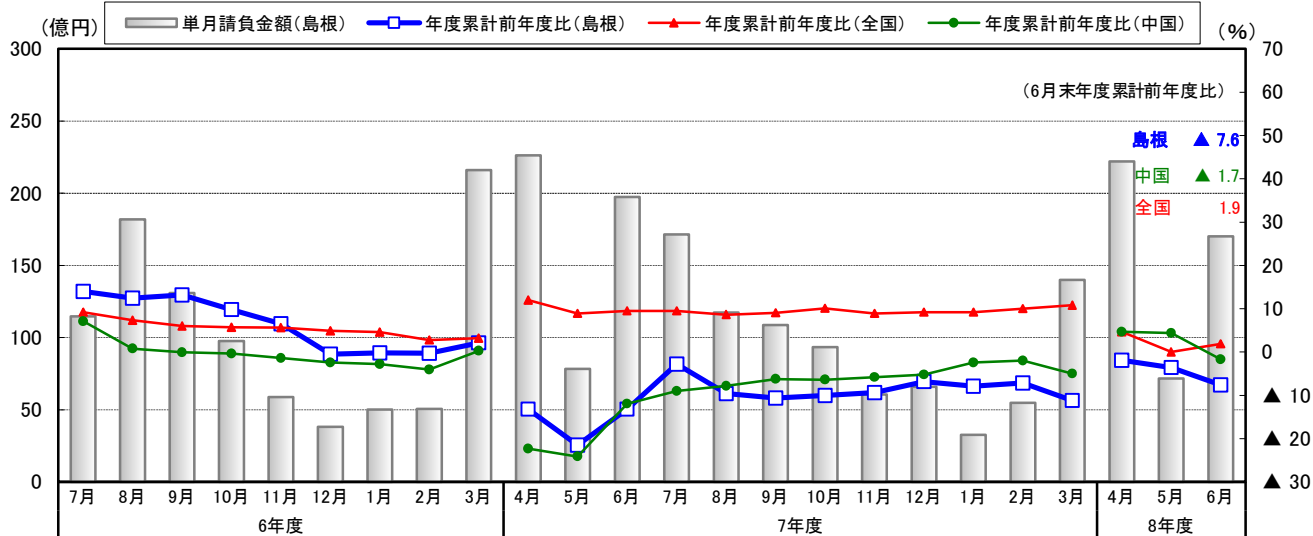
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所:国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所:各建設業保証(株))